

単元指導計画 中学校 1 年 Hi, English! Globe0, 1

単元名 (時数)	「ALT にクラスメイトを紹介しよう」(9 時間)	
時期	4 月	
単元の目標	<p>【知技】 アルファベットとフォニックスの音の違いを知ることができる (C) 自己紹介を英語で書くことができる。(C)</p> <p>【思判表】 自己紹介や他己紹介を通して、クラスメイトや ALT に伝えることができる (C)</p> <p>【学び】 聞き手を意識し、アイコンタクト・適切な声量・はきはき話すことを意識して伝えようとする。(C)</p>	
言語材料	新出表現・語彙例	Call me..., please. from,
	既出表現・語彙例	I' m..., You are..., Are you ...? Yes, I am. / No, I' m not. I like..., He/She is..., 挨拶、月・曜日、教科名

※SEA, CIR, 高校 (3 年生) など

毎時間の目標 【知/思/学】	活動例 (L/G/C の内容)
1 色々な挨拶の仕方があることを知り、その受け答えができる【学】 (教) P 4, 5, 8, 9	①朝・昼・夜の挨拶、月や曜日、How are you?以外の言い方と受け答え方 (ALT), 国による違い (指導書 p40) ②ALT と Simon Says で Classroom English に慣れる
2 英語を書くための準備をしよう (アルファベット書き) ①【知】 (教) P 1 2, 1 3, 1 6, 1 7	①Classroom English の復習をする。 ②アルファベットカルタなど、文字の読みを確認する。 ③ワークやノートを使って、線に沿って丁寧に書けるようにする。(大文字中心に)
3 英語を書くための準備をしよう (アルファベット書き) ②【知】 (教) P 1 2, 1 3, 1 6, 1 7	①Classroom English の復習をする。 ②アルファベットカルタなど、文字の読みを確認する。 ③ワークやノートを使って、線に沿って丁寧に書けるようにする。(小文字中心に)
4 英単語を発音に気をつけて読めるようになろう (フォニックス)【知】 (教) P 1 2, 1 3, 1 4, 1 5	①アルファベットの復習をする。(小文字中心に) ②いろいろな語彙を聞きながら、発音の仕組みを知る。
5 英語での会話を通して、自分のできることや好きなことを知る【思】 (教) P 1 0, 1 1	【Small Talk】 ※聞いたことは日本語で書いてよい 小学校で行った質問から出していき、思い出させる。 1. What' s your name? I' m...Call me... 【2. What should I call you?(※英語圏では元々ニックネームで自己紹介をする人もいる, What' s your nickname?というとその人の名前が嫌いだと思われることもあるなど背景的なことを伝える)】 3. Where are you from? I' m from... 4. When is your birthday? It' s... 5. Can you...? 6. Do you play...? Do you like...?/ What...do you like?, What...do you play?
6 ALT にクラスメイトを紹介しよう①【学】 (教) P 1 8, 1 9, 2 2, 2 3、	①相手の紹介を練習する。S/He is..., S/He is from..., Her/His birthday is..., S/He can..., S/He likes/plays...

24, 25, 26, 27	その後, ALT に紹介する。※日本語でメモをとる
7 ALT にクラスメイトを紹介しよう② 【学】(教) P18, 19	①S/He is..., S/He is from..., Her/His birthday is..., S/He can..., S/He likes/plays...
8 自己紹介や他己紹介で知った情報を英語で丁寧に書くことができる【知】 (教) P27, 28	①単語・固有名詞などを書く活動 例) Kenta, Ken, Hokkaido, Higashikawa, June the seventh, piano, kendo など
9 他己紹介で知った情報を英語で丁寧に書くことができる【知】 (教) P27, 28	①単語・固有名詞などを書く活動 例) Kenta, Ken, Hokkaido, Higashikawa, June the seventh, piano, kendo など

単元指導計画 中学校 1年 Globe 1, 2

単元名 (時数)	「世界のティーンエイジャー」(10時間)	
時期	5月	
単元の目標	【知技】 指示語や、簡単な動詞を用いて文を作ることができる。(L) 【思判表】 世界のティーンエイジャーがどのような生活をしているかを知り、自分の考えを簡単な英語で表現することができる。(L) 【学び】 世界にはいろいろな十代の子どもたちがいることを知ることができる。(G) SDGsについて知り、私たちができることを考えようとする。(L)	
言語材料	新出表現・語彙例	This /That / It is~. /
	既出表現・語彙例	be good at (小6 G1) He / She is~. (小5 G9)

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 小学校で学んだ Globe で世界の子どもたちのことについて知っていることについて交流することができる。【学】	①小学校から今まで学習してきたことで自分のこと (I), 相手 (You) のことをたずねられるようになったね。 ②世界の同年代の子どもたちのことについて知って、自分の考えを言えるようになるろう。 ③小学校の Globe で調べたり学んだりした世界の子どもたちのことについて、みんなで交流しよう。例) ノルウェー・カナダ・アメリカ・フィリピンの子どもについて
2 世界の子どもたちの姿を知り、現状を理解することができる【学】	①世界の子どもたちの様子について見てみよう。 図書室にある本を使用する (世界のともだちシリーズ)
3 世界の子どもになりきり、相手に質問する文を作ることができる【知】 教科書 P26,27	①Are you~? / Are you from ~? / Are you 形容詞?などの文をつくらることができる。
4 世界の子どもになりきり、質問されたことに答えることができる。【思】	①資料を再読し、なりきるために情報収集をする。 ②3時間目に作った質問をクラスメイトにして、なりきって答えることができる。
5 世界の子どもになりきり、その人について詳しく説明する文を書こう。【思】	①前時までの学習内容をふり返る (質問をする) ②自分が担当した子どもになりきり、自己紹介形式でその人について英語で書く。
6 人に紹介することができる。【知】 教科書 P30,31,34,35	①写真や資料を使い、自分が学習したティーンエイジャーを紹介する文をつくらることができる。This is~. He is ~. She is ~.
7 世界の子どもたちの日常をお互いに紹介することができる。【思】	①自分が調べたティーンエイジャーをクラスメイトに紹介することができる。また、聞いた内容をメモすることができる。
8 紹介された人物について、質問することができる。【思】 教科書 P.32,33	①質問してみる。Is this ~? Is that ~? Is he/she~?も入れてよい。

<p>9 SDGsについて理解し、わたしたちができることを考えることができる。 【知】</p>	<p>①JICA 藪さんのSDGsを考えるアクティビティ 今、世界で何がおこっているか？ 2030年までにどんな世界を目指しているのか？ CIRやALTで詳しい方に講話をしてもらう。</p>
<p>10 世界の子どもたちについて、自分の考えを述べることができる。【思】</p>	<p>①世界のティーンエイジャーの生活について英語でまとめ、それに対してどう思うか考えを書くことができる。SDGsと関連して考えさせることができるとなおよい。 ②単元の振り返りをする</p>

単元指導計画 中学校 1 年 Globe Trial 1

単元名 (時数)	「場面に応じて会話をしよう」(1 時間)	
時期	5 月末	
単元の目標	【知技】 質問されたことを正しく理解することができる。(G) 【思判表】 質問に対して単語レベルで答えることができる。(L) 【学び】 アイコンタクト、適切な声の大きさや笑顔に意識しながら、相手の質問に答えようとするすることができる。(C)	
言語材料	新出表現・語彙例	
	既出表現・語彙例	Who is ~?(小 5 G 9)、He/ She is ~.(小 5 G 9)

※ナタリー含め 5 人以上の ALT、SEA

問題⑨【学級担任の先生 (1 年生向け)】

A : 面接員 (ALT) B : 生徒 (生徒)【準備】なし

導入		<p>A Come on in. Hello. I am/my name is - . Nice to meet you.</p> <p>B Hello. I am - . Nice to meet you, too.</p> <p>A Please take a seat. Can I have your stamp card, please?</p> <p>B Here you are.</p> <p>A Thank you. ・Small talk/self introduction. (30sec) ・Add a topic 1-9 here. Thank you. Now, let' s start the English Trial. Are you ready?</p> <p>B Yes, (I am)./OK/sure etc.</p> <p>A Let' s start/begin.</p>
	A	<p>①英語で説明する場合 I am your English teacher from New Zealand. You are my student. We talk about your school life. Are you ready?</p> <p>②場面カードを渡す場合 OK. ○○-san. Please read the passage. (場面カードを渡す) This is our situation. OK? (分からないようであれば、Here is ~. You are ~.などと説明する (日本語も可))</p>

英 会 話	A1	Who is your home room teacher (<i>tan-nin-no-sensei</i>)?
	B1	My home room teacher is Ms. Kato. / Ms. Kato is. など
	A2	Is he / she from Okinawa?
	B2	No, he / she isn' t.
	A3	Where is he / she from?
	B3	He / She is from Sapporo. など
	A4	Can he play basketball? など
	B4	Yes, he can. など

終 了	A	OK. Thank you. (評価する) The English Trial of this satellite is over now. (よい所を一つコメントする) Thank you very much ○○san. Good bye.
	B	Good bye. など

単元指導計画 中学校 1 年 Globe3

単元名 (時数)	「日本の音楽 (楽器) やスポーツを教えよう」(12時間)	
時期	5月末～6月末	
単元の目標	<p>【知技】 語順を理解し、好きな音楽やスポーツを書くことができる。(L) 辞書の引き方と、辞書で用いられる記号などについて理解する。(L)</p> <p>【思判表】 自分の好きなことを伝えたり相手にたずねることができる。(C) インタビューで得た情報を理解し、簡単な英語で伝えることができる (G)</p> <p>【学び】 日本と諸外国の音楽とスポーツの比較を通し、伝統文化について考えることができる。(G)</p>	
言語材料	新出表現・語彙例	play, like, want, teach, use, study
	既出表現・語彙例	My name is … / I like … / Do you …? /

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/C の内容)
1 日本の代表的な音楽 (楽器) やスポーツの話の聞いて理解することができる。【学】	①Do you know about…? Do you play…? Do you like…? (体育科や音楽科の協力を得ながら) 日本の音楽やスポーツについて (5～6個), クイズを交えていくつか話す。生徒はひとつ選んで、軽くまとめる。 ※ICT の活用
2 和英・英和辞書の使えるようになる。【知】 (教) P.37,52,53	①日本の伝統音楽やスポーツを紹介するときに使えそうな未習単語を提示し、単語の調べ方やページの見方を説明する。
3 自分の好きな音楽 (楽器) やスポーツについてまとめ、話すことができる。【思】 (教) P.38、39	①自分の興味を持った音楽 (楽器) やスポーツについてまとめ、グループで話す。 I like … It is Japanese music / sport. など
4 相手の好きな音楽 (楽器) やスポーツについて尋ねることができる。また、答えることができる。【思】 (教) P.40、41	①前時でまとめた情報をもとに、クラスメイトに尋ねる。また、質問に適切に答えることができる。 Do you like Japanese sport? – Yes, I do. / No, I Don't など
5 相手の好きな音楽 (楽器) やスポーツについて尋ね方や答え方を書くことができる。【知】 (教) P.40、41	①3で行った活動の答えを参考に、自分が質問した内容や、何人のクラスメイトが何を好んでいるかなどの文を作る。 Many classmates like sumo. など
6 興味のある日本の代表的な音楽やスポーツについて、英文にすることができる。①【知】	①ペア活動で図書室にある本を参考にする。 ②必要情報をメモし、主語+動詞を意識した文をつくる。
7 興味のある日本の代表的な音楽やスポーツについて、英文にすることができる。②【知】	①ペア活動で英文づくりをする 例) Do you know…? Do you like…? Do you play…? Sumo is famous in Japan. Strong wrestler is called Yokozuna.

<p>8 日本の伝統的な音楽やスポーツについての英文を読み、伝統文化を知ろうとする。【学】</p>	<p>①生徒が作成した文を互いに読み、日本の伝統的な音楽やスポーツの概要を知る。</p>
<p>9 外国の音楽（楽器）やスポーツについて聞いて理解することができる。また Do you…?を用いて質問することができる。【学】</p>	<p>①日本語学校の生徒に自国の伝統的な音楽やスポーツを紹介してもらう。（屋台形式）</p>
<p>10 9で興味があつたものをより深く調べ、掲示物を作成する。【学】</p>	<p>①なぜその国で盛んなのか、どのように生活に根付いているのかなど、「なぜ、どのように」を追究する。</p>
<p>11 掲示物を使い、発表する。【学】 【知】</p>	<p>①Show and tell 形式。伝えるために必要なコミュニケーションスキルを意識させ、自分の調べた内容を伝える。</p>
<p>12 日本と諸外国の音楽やスポーツ知らなかったことや印象に残ったことをまとめることができる。【思】</p>	<p>①日本と諸外国の音楽やスポーツで知らなかったことや、特に印象に残ったものを、自分の言葉で書く。 ②この単元の振り返りをする。</p>

単元指導計画 中 1 Globe 4 /Presentation 1

単元名 (時数)	「リサイクル活動について」(9時間)	
時期	6月～7月	
単元の目標	<p>【知技】名詞の複数形, How many～?の文とその答え方, Let's～.や命令文の形・意味・用法に関する知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。(C)</p> <p>【思判表】リサイクル活動などの話を通して, 現状の問題や課題に気付くことができる (G)</p> <p>自分自身の得意なことや不得意なことなどを表現し, 自己紹介ができる。(L)</p> <p>【学び】リサイクル活動を通して, その地域の特徴を考えることができる (G)</p>	
言語材料	新出表現例	<p>I want two lemons. How many photo festivals do you have?</p> <p>Let's take pictures. Take a doggy bags.</p>
	既出表現例	<p>How many (apples)? 【小3G3】 Ten (apples). 【小3G3】</p> <p>Let's play cards. 【小4G2】 Go straight. 【小4G8】</p>

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/C の内容)
1 東川町の地図を使って、東川町にあるものの数を尋ねたり答えることができる。【知】	①旭川市や北海道の観光地などの例を提示する。その後、グループで地図を読み取り、東川町に関わる質問を作り、クラスメイトに聞きあう。
2 東川町にあると良いものを考えよう。【思】教科書P46, 47	①教科書本文を読み、一般動詞 want の使い方を理解する。 ②よりよい東川町になるために、どのような施設や制度があるとよいか考え、クラスメイトと意見交換をする。
3 ALT の出身地のリサイクル活動についての話を理解することができる。【学】	①ALT の先生の出身国のリサイクル活動について尋ねよう How many events do you have? We have ○○ events.
4 諸外国のリサイクルについて調べ、東川との違いに気づくことができる。【学】 (教) P.48,49	①ICT を活用して何カ国かのリサイクル方法を知る。 ②情報収集を行い、簡単な英語にする。 ③クラスメイト同士でのインタビュー活動をし、様々な国の方法を知る。 How many types of recycling do you have in ? - I have about 5.
5 4 で調べた内容を共有し、自分達の地域で取り入れるならどの方法が良いかを考えることができる【思】	①前時の内容を確認する。 ②できるだけ英単語を用いて理由も説明する。(メモを活用して伝えることができる。) We want a Brazilian way. We want a Swedish way.
6 英語の掲示や標識の意味を理解することができる。【知】(教) P.50,51	①ALT の先生の英語の掲示や標識についての英語を聞いて、その意味を理解しよう。(C)例)Recycle Here. / Rubbish / Watch your step.など
7 ALT の支援を受けながら、英語で掲示や標識を作ろう【思】	①実際に使われている標識を提示してもらい、意味を考える。

	②日本との比較をし、相違点を見つける。 ③英語の掲示や標識をつくる。 例) Be quiet. watch your head. Let's go together.
8 ALT や S E A の方々の自己紹介を聞いて、内容を理解しよう【知】	①様々な自己紹介を聞き、内容を聞き取る。 ②自己紹介の効果的な方法を見つける。 例) Hello. My name is ○○. My favorite subject is～. I like ○○.
9 自分自身の得意なことや不得意なことなどを表現し、自己紹介ができる。【思】	①既習文法を用いて、Globe0,1 で行った自己紹介に工夫を加え、表現豊かにしたものを行う。 ②単元の振り返りを行う。

単元指導計画 中学校 1 年 Globe Trial 2

単元名 (時数)	「買い物をしよう」(1 時間)	
時期	7 月末	
単元の目標	【知技】 買い物に必要な表現を理解する。(C) 【思判表】 店でほしいものを注文したり、支払いのやり取りをしたりすることができる。(C) 【学び】 相手に伝わりやすくなるような話し方を工夫し、コミュニケーションを図ろうとする C)	
言語材料	新出表現・語彙例	Here's your change. / Is that all? / (Can I have~?)
	既出表現・語彙例	May I help you? / Here you are . 【小 1 G 4】

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/C の内容)
1 お店での注文や支払のやりとりをしよう。【思】	①教科書 P.46,47 を参考に、会話の流れを理解する。 ②海外旅行先にもあるお店 (ファストフード店など) の設定で、注文と支払のやり取りをする。

単元指導計画 中1 Globe 5

単元名 (時数)	「日本食を紹介しよう」(9時間)	
時期	7月～8月	
単元の目標	<p>【知技】疑問詞 What を使った疑問文とその答え方, ものの性質や状態などについて書いたり, 話したりすることができる。(C)</p> <p>【思判表】世界の食文化についての話から, 日本食の良さや特徴に気付くことができる (G)</p> <p>日本食について簡単な英文で説明することができる。(L)</p> <p>【学び】世界の食文化を通して, 和食の良さや特徴を考えようとする。(G)</p>	
言語材料	新出表現例	<p>What is this? It's a ….</p> <p>The recipe is not difficult for curry. What do you have for breakfast?</p>
	既出表現例	What's this? 【小1 G 2】 It's a recipe for curry. 【小2 G 2】 What do you have …? 【小3 G 5】

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/C の内容)
1 ALT や SEA に母国の伝統的な食事の話聞いて理解することができる【学】	<p>①ALT と J T E が新出文法事項を使った会話をしながら, 母国の伝統的な料理についての話を展開していく。</p> <p>例) 料理の写真を見せて, What's this?—It is….</p> <p>It is 特徴～.</p> <p>What food do you like in ～?—I like….</p> <p>Do you try it ?— など, 伝統的な料理の理解につながるような話をする。(L)</p>
2 外国人に人気のある日本食や日本人に人気のある日本食を知ることができる。【学】	<p>①様々な国にある日本食の種類や、アレンジされたメニューを知る。</p> <p>②日本人にとっても人気のある日本食について調べる。</p> <p>※ICT の活用</p>
3 外国人に紹介したい和食について, 英語を使って書くことができる【知】 (教) P 6 0, 6 1	<p>①教科書本文を参考に、主語+be 動詞+形容詞の表現を知る。</p> <p>②前時までに出てきた料理を、Do you know～? What's this? It is a …..It is 形容詞～.などの文を使い、自分の言葉で文を書くことができる。</p> <p>③外国人に紹介したい日本食の写真を見つける。</p> <p>※ICT の活用※ワークを使う</p>
4 外国人に紹介したい和食について英語表現を使って説明できる。【思】	<p>①前時に見つけた写真の料理にまつわる説明文をつくる。</p> <p>※グループ内発表</p>
5 疑問詞 What を使った疑問文とその答え方を理解し, 書くことができる。【知】 (教) P.58,59	<p>①What's this? It is ～.を使って表現する。</p> <p>②色々な表現に慣れる。</p>
6 疑問詞 What を使った一般動詞の疑	①教科書本文を使い、疑問詞 what の質問を知る。

問文とその答え方を理解し、書くことができる。【知】 教科書 P.62,63	②What do you have for breakfast ? I have toast and milk. など色々な表現に慣れる。
7 様々な国の朝食について説明することができる。【思】	①ALT や SEA、CIR の出身国の朝食を知り、それについてまとまりのある文を書くことができる。
8 この単元で既習した内容を使って、ALTやSEAへの質問を考えることができる。【知】	①食についての質問を作る。 例) What food is famous in your country? It is ○○. What do you have for breakfast in your country ? ※ワークブック等を使って、練習を行う。
9 ALTやSEAの人たちに英語で質問をすることを通して、どのような食文化なのかを聞くことができる。【知】	①ALT/SEA に自己紹介をしてもらう。(好きな日本食や食べられないものなどを伝えてもらう) ②英語での質問に答えてもらう。もし、ALTやSEAが生徒へ質問したいことがあれば、してもらう。 ※ワークブック等を使って、練習を行う。
10 世界の食文化や和食の良さや特徴を考えることができる。【学】	①前時のメモをいかし、初めて知ったことをグループで共有する。 ②この単元の振り返りをする。

単元指導計画 中学校 1年 Globe Trial 3

単元名 (時数)	「体調をたずねたり、伝えたりしよう」(2時間)	
時期	8月末	
単元の目標	【知技】自分の体調を伝える症状や、たずねるフレーズを理解する。(C) 【思判表】相手に体調をたずねたり、自分の体調を説明することができる。(C) 【学び】相手の体調を気にかけて、症状にふさわしい対応をしようとする。(C)	
言語材料	新出表現・語彙例	What's wrong? / What's the matter? / Go home and take a rest.
	既出表現・語彙例	

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/C の内容)
1 体調を伝えるフレーズを理解しよう。【知】	①ピクチャーカードを用いて、症状を伝える単語を知る。 ②教科書 P.64,65 を読み、たずね方や体調を伝えるフレーズを知る。(L)
2 相手に体調をたずね、症状にふさわしい対応をすることができる。【思】【学】	①前時の単語やフレーズの復習。 ②場面カードを使い、生徒同士でやりとりをする。

単元指導計画 中 1 Globe 6

単元名 (時数)	「東川町のプロフェッショナルを紹介しよう」(11時間)
時期	9月～9月下旬
単元の目標	<p>【知技】 三人称現在形を用いて、人を紹介する文をつくることができる。(C)</p> <p>【思判表】 東川町のプロフェッショナルをクラスメイトやALTにポスターを用いて伝えあうことができる。(C)</p> <p>【学び】 地元で活躍している人を知り、東川の魅力を考えようとする。(L)</p>
言語材料	<p>新出表現・語彙例</p> <p>brother, sister, live(s), university, there, speak(s), well, sometimes, teach(es), Japanese, look at, does, near, beach(es), has, beautiful, weekend(s), run(s), swim(s), surf(s), his, on weekends, does not, animal(s), kangaroo(s), come, into, backyard, house, draw(s), tree(s) talk, come into, cereal, fruit, milk, orange juice, rice, toast</p>
	<p>既出表現・語彙例</p>

毎時間の目標【知/思/学】	活動例(L/G/Cの内容)
1 地元で活躍している人を知り、東川の魅力を考える【学】	<p>①「東川町のプロフェッショナル」の冊子から数名抜粋し、仕事や東川の魅力をどう感じているかを知る。</p> <p>②自分自身が東川に対してどのように魅力を感じているかを考える。</p> <p>③東川町のプロフェッショナルを世界に発信することを伝える。</p>
2 三単現を知り、人を紹介する文を書くことができる。【知】(教) P.66, 67	<p>①教科書本文を使い、三単現を理解する。</p> <p>②人を紹介する文を書く。 (クラスメイト、ALT、担任の先生など)</p>
3 三人称単数現在形を用いて、紹介された人物について、質問することができる。【思】(教) P.68, 69	<p>①教科書本文を使い、質問の仕方を知る。Does he /she? ※疑問詞(既習内容をメインに)を使用した質問にも触れる</p> <p>②来校してくれるプロフェッショナル(個人)について質問を考える。また、冊子に書いてある情報で答え合わせをする</p>
4 東川のプロフェッショナルに聞きたい質問をつくることができる。①【思】	<p>①プロフェッショナルに聞きたい質問を考える。 (例:プロフィールに関わること、仕事、東川の魅力など)</p> <p>②ALT/CIRが同席するので、その方たちにも伝わるように英語で質問をつくる。</p>
5 東川のプロフェッショナルに聞きたい質問をつくることができる。②【思】	<p>①プロフェッショナルに聞きたい質問を考える。 (例:プロフィールに関わること、仕事、東川の魅力など)</p> <p>②ALT/CIRが同席するので、その方たちにも伝わるように英語で質問をつくる。</p>

6 東川町のプロフェッショナルにインタビューしよう【思】	①プロフェッショナルを呼ぶ。 ②グループに1名 ALT/CIR などの先生に入ってもらおう ③前時に作った質問をする。その際に、同時通訳で ALT/CIR にも伝える。(できる限り) ※プロフェッショナルには日本語対応のみ
7 三単現の否定文の作り方を理解し、文をつくることができる。【知】【思】(教) P.70, 71	①教科書本文を使い、否定文の作り方を理解する。 ②インタビューした内容の中にある、否定文に関わるものを英文で書く。
8 インタビューした内容を英語でまとめよう。【思】	①グループ内で担当を決め、必要な情報をまとめる。 ※ポスターなので箇条書きが望ましい ②英語でまとめる
9 インタビューした内容を英語でまとめ、ポスターを作ろう①【思】	①英語でまとめる。 ②まとめた内容をポスター用紙に書いていく。
10 インタビューした内容を英語でまとめよう。②【思】	①英語でまとめる。 ②まとめた内容をポスター用紙に書いていく。
11 ALT や CIR を呼び、東川町のプロフェッショナルを世界に発信することができる。【思】	①ゲストを呼ぶ。 ②ゲストとクラスメイトにポスターを使い、担当したところを発表する。 ③この単元の振り返りをする ※日本語学校で掲示してもらおうなどできるとよりよい

単元指導計画 中学校1年 Globe Trial 4

単元名(時数)	「電話の会話」(2時間)	
時期	9月下旬	
単元の目標	【知技】電話での会話に特有な表現を身に着ける。(C) 【思判表】電話で、相手を招待したり、誘ったりする対話をするすることができる。(C) 【学び】積極的に電話の会話をしようとする。(L)	
言語材料	新出表現・語彙例	free, then, busy, How about~?
	既出表現・語彙例	

毎時間の目標【知/思/学】	活動例(L/G/Cの内容)
1 電話での会話に必要な特有表現を身につけている【知】(教) P.72,73	教科書本文を参考にしてロールプレーをする。
2 電話で相手を招待し、それに返答することができる。【思】	ペアや3人グループを作り、シチュエーションの書いたカードを引く。それに合わせてお互いに返答する。

単元指導計画 中学校 1年 Globe7

単元名 (時数)	「世界の学校生活」(19時間)	
時期	10月～10月下旬	
単元の目標	<p>【知技】 様々な疑問詞を用いた疑問文を使い、質疑応答の仕方を理解している。(L)</p> <p>【思判表】 様々な国の学校生活を、クラスメイトにわかりやすく、まとまりのある文で伝えることができる。(C)</p> <p>感謝や目的に合わせてカードを書くことができる。(C)</p> <p>【学び】 ALTやSEAの人達の学校生活の話を通して、自分達の国の学校生活との違いや良さを考えようとする。(G)</p>	
言語材料	新出表現・語彙例	Which～? ファミリーツリー(daughter, son, など) or, of course.
	既出表現・語彙例	Who～(小5 G9), What time～? (小5 G4) 季節 (小6 G4)

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 ブラジルの文化や学校生活について理解することができる。【学】	ALTと英語科が新出文法事項を駆使した英会話をしながらブラジルの国の理解へつながる話を展開していく。 例) 集合写真を見せて、Who's this?—She is… What time is it in Brazil?—It's… What language do people in Brazil speak?—They… Which season is it now, fall or spring? など
2 世界や日本の有名人について英語表現を使ってたずねることができる。【思】(教) P76, 77	Do you know～? Who's～? S/He is a …..His / Her ~ is…./その人にまつわる何か説明を加える。※ICTの活用 例) Do you know <u>Justin Bieber</u> ? Who's <u>Justin</u> ? He is a <u>famous singer</u> . <u>His famous song is</u> “What do you mean?”
3 世界や日本の有名人について英語表現を使って書くことができる。【思】	Do you know～? Who's～? S/He is a ….. His / Her ~ is…./その人にまつわる何か説明を加える。 例) Do you know <u>Justin Bieber</u> ? Who's <u>Justin</u> ? He is a <u>famous singer</u> . <u>His famous song is</u> “What do you mean?”
4 時刻や気候、季節について英語表現を使ってやりとりができる。【思】(教) P78, 79	・教科書を使いながら、What time～? It's…の表現を使ったアクティビティをする。(p.m./a.m.、in the morning/afternoonなど様々な答え方があることを理解する)
5 時刻や気候、季節について英語表現を使って、書くことができる。【知】	What time ~? It's…の表現を書く。色々な言い方に慣れる。
6 ALTに出身国で話されている言語について聞き、理解する。【知】	テーマ: What language do people <u>in Australia</u> speak? それについて、ALTが自国の話をする。 先生が話された内容についてWhich～?を使って、生徒に質問する。特に、Which <u>does</u> ～?の表現に慣れさせる。
7 どれ(What), どちら(Which)という表	季節や様々な場所などについてお互いに情報交換をする。

現に慣れ、受け答えが書けるようになる。【知】(教) P80, 81	そして、自分自身のことやインタビューで得た内容を書く。
8 いままで既習した内容を使って、インタビューを考えることができる。【思】	グループ活動 What time is it in…….? –It’ s… What language do people in ….. speak?–They…. Which language do you speak in ……….?– Do you have summer time?– など 最後に、全体で各班で質問したい内容をとりまとめ、次回に備える。
9 ゲスト(日本語学校)との質疑応答をとして、それぞれのゲストの出身国の学校についてしることができる。【学】	基礎情報を話してもらい。その後、生徒達の英語での質問に答えてもらう。もし、ゲストが生徒へ質問したいことがあれば、してもらう。
10 ゲスト(ALT,CIR,SEA など)に英語で質問をすることを通して、どのような国なのか色々な情報を聞くことができる。【思】	基礎情報を話してもらい。その後、生徒達の英語での質問に答えてもらう。もし、ゲストが生徒へ質問したいことがあれば、してもらう。
11 ゲストからの情報をまとめる① 【思】(教) P.90, 91	①教科書本文を使い、まとめ方を知る。 ②ゲストから聞いた情報をもとに、学校生活について項目や時系列毎にまとめる。 ③質問内容や、その答えを英語で書き、レポートにする。
12 ゲストからの情報をまとめる② 【思】(教) P.90、91	質問内容や、答えを英語で書き、簡単なレポートにする。
13 ALT の出身国で行われるスポーツをクラスメイトとすることができる。【学】	オセアニア圏で人気のあるスポーツを実際に行う。簡単な英語でのルール説明をし、生徒同士がプレー中に使うかけ声を確認する。
14 ALT の出身国で行われるスポーツをクラスメイトとすることができる。【学】	ルールやプレー中のかけ声の確認や、作戦を立てる。
15、16 学年でタッチラグビーをし、異文化に親しむ。【学】	それぞれのクラスで練習したことを実践する。その際に、ALT、CIR、SEA に来てもらい、交流できるとよい。
17 理想の学校生活を考え、書くことができる【思】	①学んできた様々な国の学校生活をもとに、自分の理想とする学校生活を英語で書くことができる。 ②単元の振り返りを行う。
18 グリーティングカードを書くことができる。【思】 P.82, 83,	教科書を参考にしながら、日本語と英語でのカードの書き方の違いをみつけ、作成することができる。
19 グリーティングカードを書くことができる。【思】	ゲストに Thank you カードを書く。

単元指導計画 中学校 1 年 Globe8

単元名 (時数)	「海外の方におすすめする日本の本を紹介しよう」(10時間)	
時期	11～11月末	
単元の目標	<p>【知技】 ・場所を表す語句や人称代名詞を用いて、本の内容を簡単な英語で要約することができる。(L)</p> <p>【思判表】 ・日本に住む外国人におすすめする本を英語で伝え、質問に対して答えることができる。(L)</p> <p>・聞き手を意識して、より分かりやすくなるように発表の仕方を工夫することができる。(C)</p> <p>【学】 ・話題が上がったことに対して、積極的に対話を続けようとする。(C)</p> <p>・本を通して、イギリスと日本の文化の違いについて考えようとする。(G)</p>	
言語材料	新出表現・語彙例	前置詞 (by, under)、人称代名詞
	既出表現・語彙例	Where is~?(小5G7)

毎時間の目標【知/思/学】	活動例(L/G/Cの内容)
1 イギリスの児童文学について考え、イギリス文化を知ろうとする。【学】	<p>① イギリスのイメージを聞く。(G)</p> <p>② イギリスで作られた文学を確認する。</p> <p>③ 湖水地方の話(ガーデニング、公園、フットパス)とピーターラビット読み聞かせ(Natalie)</p> <p>Do you know about...? Do you know this book? Where's...? などこれから習う表現を入れて話す。</p>
2 どこにあるか尋ねたり、答えたりすることができる。【思】 (教) P84、85	<p>① 教科書本文を使い、疑問詞 where の使い方を理解する。また、いくつかの場所を表す前置詞を伝える。</p> <p>② ピーターラビットやくまのプーさんの登場動物を使って、Where's~?とその受け答えをしていく。It's by the tree. など。(C)</p>
3 イギリスの自然保護について考えることができる。【学】	<p>① 前時の復習をする。</p> <p>② ピーターラビットから見える湖水地方の自然と環境保全に目を向ける。(G)</p>
4 イギリスの自然保護について考えることができる。【学】	<p>① 身近な環境保全とイギリスの取り組みを比較し、日常生活から自分達ができることについて考える。(L)</p>
5 誰のものかを尋ねたり、答えたりすることができる。【思】 (教) P86、87	<p>① 教科書本文を使い、疑問詞 Whose の使い方を理解する。また、代名詞の使い方に慣れる。</p> <p>② 本の登場人物や図書室にある本や私物の本など、掲示物のプリントなどを活用する(実際の場面に近い形で) ※生徒、先生、ALTの物で</p> <p>Whose 名詞 is that? It's mine! (C)</p>

<p>6 人称代名詞を表す語句を使って、本の内容を簡単に要約する。【知】(教) P 8 8, 8 9</p>	<p>① 教科書本文を読み、人称代名詞の使い方を理解する。 ② 既習の教科書本文の内容や、前時まで使った児童文学を使い、Unit ごとの内容を要約する。</p>
<p>7 人称代名詞を表す語句を使って、本の内容を簡単に要約する。【知】</p>	<p>① 人称代名詞の使い方を復習する。(C) ② 海外の方におすすめの本を紹介するために必要な表現を しる。 Do you know this book? It' s a story of… . The writer is … . Do you know about her/him?</p>
<p>8 人称代名詞を表す語句を使って、本の内容を簡単に要約する。【知】</p>	<p>① 人称代名詞の使い方の復習をする。(L) ② 国語の授業で作ったポップを参考に、本の内容を再精査してわかりやすく英文にする。</p>
<p>9 場所や人称代名詞を表す語句を使って、本の内容を簡単に要約する。【知】</p>	<p>① 主語を明確にし、要約文を作る。(L) Main character is He / She likes</p>
<p>10 日本に住む外国人におすすめする本を英語で伝え、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 【学】</p>	<p>① おすすめする本をゲストに一人ずつ発表していく。質問されたことに答えることができ、対話を続けようとする ことができる。(C)</p>

ねたり，書くことができる。【知】	色々な表現に慣れる。※ワークブック等で理解を深める
6 ALTやSEAの方々に伝統芸能について会話を行う①【学】	①ゲストを招き、各国の伝統芸能を動画や写真を用いて教えてもらう。
7 ALTやSEAの方々と伝統芸能について会話を行う②【学】	②質問をして、詳しく知る。 What are you doing ? We are ~ing.を使って表現する。 ③学習した内容を簡単にメモする。
8 興味を持った伝統芸能についてクラスメイトに紹介する。【思】	①前時のメモを使い、英語クラスメイトと情報交換をする。 ②自分にとって印象に残った伝統芸能について感想をまとまりのある英語で書く。 ③単元の振り返りをする。

単元指導計画 中学校 1 年 Globe Trial 5

単元名 (時数)	「道案内をしよう」(3時間)	
時期	1 2 月末	
単元の目標	<p>【知技】 質問されたことを正しく理解することができる。(G)</p> <p>【思判表】 目的地にたどり着くような指示をまとまりのある英語で伝えることができる。(L)</p> <p>【学び】 アイコンタクト、適切な声の大きさや笑顔に意識しながら、相手の質問に答えようとする。(C)</p>	
言語材料	新出表現・語彙例	How can I get to …? / Please tell me the way to ….
	既出表現・語彙例	I'm looking for… / Go down … / Turn left / right at….

※ナタリーを含め5人以上の ALT、SEA

Globe Trial 4 : Exploring Higashikawa

A	Come on in. Hello. I am/my name is - . Nice to meet you.
B	Hello. I am - . Nice to meet you, too.
A	Please take a seat. Can I have your stamp card, please?
B	Here you are.
A	Thank you. • Small talk/self introduction. (30sec) • Add a topic 1-9 here. Thank you. Now, let' s start the English Trial. Are you ready?
B	Yes, (I am)./OK/sure etc.
A	Let' s start/begin.

A	Hello how are you?
B	I' m fine, thank you.
A	I am new here in Higashikawa. I don' t know this town. I want to see some nature. Where can I go?
B	Ah, I see. I know a lot about Higashikawa. You can go to Mt. Asahidake. There is a ropeway there.
A	Oh how can I get to the ropeway?
B	You can take the X bus from Michi no Eki/Michikusan.
A	Really that sounds convenient. How long does it take?
B	It takes (about/around) 30 min.

A	Okay, and how much does it cost?
B	It costs X.
A	I see, thank you. That' s all for now. Thank you. Goodbye.
B	Goodbye.

毎時間の目標【知/思/学】	活動例（L/G/C の内容）
1 ALT/ CIR /SEA からの聞かれた目的地にたどり着くような指示をまとまりのある英語で伝えることができる。【思】	①上記の内容を面接形式で行う。
2 道案内で使う表現を理解することができる。【知】 P.100, 101	①教科書本文を使い、道案内で使う表現を理解することができる。 ②前時に聞かれた内容に対して、まとまりのある英語で書くことができる。
3 場面カードを用いて、相手に道案内をすることができる。【思】	①教科書本文の復習をする。 ②場面カードを用いて、相手が目的地にたどり着くように指示することができる。

単元指導計画 中1Globe10

単元名 (時数)	「いろいろな観光地や文化」(12 時間)	
時期	1 2 月～2 月上旬	
単元の目標	<p>【知技】 できること, できないことを言ったりたずね合うことができる (C)</p> <p>【思判表】 外国の観光地などの文化についてインタビューしたり, 発表することができる (G)</p> <p>北海道や東川でできることを知り, 日本に来ている外国人に伝えることができる。(C)</p> <p>【学び】 北海道や東川でできることを知り, ALT や CIR に伝えようとする。(C)</p> <p>身近な観光地や文化を知ろうとする。(L)</p>	
言語材料	新出表現・語彙例	one of~/ on the way / between A and B / a lot of~/ What ~!(感嘆文)
	既出表現・語彙例	can 季節

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/C の内容)
1 ALT や SEA に母国でできること・できないことの話聞いて【学】	<p>①ALT や SEA, CIR の先生に外国でできること・できないことの紹介をしてもらう。(G)</p> <p>②日本と外国の違い→できる or できない</p> <p>③教科書 P.107～</p>
2 できることを述べる【知】(教) P106～107	<p>①ALT や SEA に聞いた話を参考に, 日本でできることを考える。</p> <p>②個人活動からグループ活動へ発展させる。</p>
3 できるかどうかたずねることができる【知】(教) P108～109	①本文を参考に質疑応答する。内容は, 2 時間目で行った日本でできること。
4 できることを読んだり書いたりすることができる【知】	①2, 3 時間目で行った内容を書く。ワークブックなど
5 いつできるか読んで理解することができる【知】(教) P110～111	<p>①教科書の本文を読む。</p> <p>②東川に関わる文を読み, 身の回りの観光がいつできるかを読み取る。</p>
6 ALT や SEA の母国の観光地やイベントについて時期や内容を尋ねることができる【思】	<p>①When can you see ～の導入 (C) J E T メンバー呼ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT の先生に母国の観光地や行事を教えてもらおう。 ・単語の導入 northern light, dog race など ・教室の四方の壁に各国の観光地やイベントの写真を貼る <p>②When can you see ～で, いつ見れるか ALT の先生にたずねよう。</p> <p>オーロラはいつ見れるの? (ノルウェー)</p> <p>When can you see (the northern light) ?</p> <p>犬ぞりレースはいつ見れるの? (カナダ)</p>

	<p>When can you see (the dog race) ?</p> <p>ワークシートに季節や時期を記入する。</p>
<p>7 聞いた情報を Q&A 形式でまとめることができる。【思】</p>	<p>①前時で得た情報をまとめる。</p> <p>②ワークブック</p>
<p>8 北海道の観光地を調べ、その土地でしかできない特別なイベントを知る【学】</p>	<p>①北海道の観光地や、そこでしかできないことを調べる。 (図書室や ICT 活用)</p> <p>②メモをとる。</p>
<p>9 調べた情報をもとに、ポスターを作成することができる。①【思】 (教) P.90, 91</p>	<p>①教科書本文の書き方やまとめ方を知る。</p> <p>②グループごとにポスターを作ろう (G)</p>
<p>10 調べた情報をもとに、ポスターを作成することができる。②【思】</p>	<p>質問した情報を元に</p> <p>You can see the festival in August.</p>
<p>11 調べた情報をもとに、ポスターを作成することができる。③【思】</p>	<p>You can enjoy/eat~.</p>
<p>12 各グループのポスターを読み取り、身近な観光地や文化を知ろうとする【学】</p>	<p>① グループで作成したポスターの情報を読み取る。</p> <p>② 興味をもったポスターに投票する。</p> <p>③ この単元の振り返り</p>

単元指導計画 中1 Globe 11

単元名 (時数)		「1年間の思い出をスピーチしよう」(9時間)
時期		2月上旬～3月
単元の目標		<p>【知技】過去を表す文を使ったスピーチ文を書いたり、話したりすることができる。(C)</p> <p>【思判表】1年間の行事やできごとについて、クラスメイトやALTに伝え合い、互いの考えを理解することができる。(C)</p> <p>【学び】1年を振り返って、自分の考えや気持ちを英語で表現しようとする。(L)</p>
言語材料	新出表現例	過去形の規則変化、不規則変化 came, went, said, got, found, ate, swam, did, read, wrote, had など
	既出表現例	

毎時間の目標【知/思/学】	活動例(L/G/Cの内容)
<p>1 ALTから、東川町での1年間の振り返って、四季に合わせてどんなことをしてきたのか話を聞いて理解することができる</p> <p>【学】</p>	<p>①ALTが新出文法事項を使った会話をしながら、1年間のできごとについての話を展開していく。</p> <p>②JTEはその話を聞いて、詳しく英語で質問する。</p> <p>例) I tried snowboarding.</p>
<p>2 1年間の思い出をスピーチしよう</p> <p>1年間の行事やできごとの中から、自分がスピーチする題材を選ぶ【知】</p> <p>(教) P.126, 127</p>	<p>①何の話題を話すのかを考え、英語表現を考える。</p> <p>・ school festival, a sport day, choral festival</p> <p>例) We had our sports day in June.</p>
<p>3 1年間のできごとや行事を振り返って話したい内容について、英語を使って書くことができる①【知】</p> <p>(教) P.116, 117</p>	<p>①教科書本文を読み、過去形の規則変化について知る。</p> <p>②自分の選んだテーマに合うように時系列でまとめていく。(どうしても)</p>
<p>4 1年間のできごとや行事を振り返って話したい内容について、英語を使って書くことができる②【知】</p> <p>(教) P.118, 119</p>	<p>①教科書本文を読み、過去形の不規則動詞について知る。</p> <p>②テーマの内容を詳細にまとめる。</p> <p>その際に、自分以外の人物や、会話文があるなどの表現が豊かになるとより良い。</p>
<p>5 1年間のできごとや行事を振り返って話したい内容について、英語を使って書くことができる③【知】</p> <p>(教) P.120, 121</p>	<p>①教科書本文を読み、質問文や否定文の使用方法を知る。</p> <p>②読み手に伝わりやすい文にするために、順序立てて原稿を書く。その際に、本文の内容を参考にすると分かりやすい。</p> <p>※はじめの挨拶などは変更する</p>

6 スピーチ原稿の清書をし、構成することができる。【知】	①前時までの内容を、聞き手を意識しながら構成をし、清書する。
7 スピーチ後にたずねたいと思う疑問文とその答え方を理解し、書くことができる。 【知】 (教) P.124,125	①スピーチのテーマ一覧を渡す。 ②テーマをみて、思いつく質問をメモする。 場合によっては質問文を作ってもよい。 例 What did you do during winter vacation ? I went to Sapporo with my family. 色々な表現に慣れる。
8 聞き手を意識した話し方でスピーチをする練習をする。【学】	
9 1年間の思い出について、スピーチをしよう① 【知】	①作成したスピーチを行う。(暗記が望ましい) ②スピーチの後に、質問を受ける。
10 1年間の思い出について、スピーチをしよう② 【知】	①作成したスピーチを行う。(暗記が望ましい) ②スピーチの後に、質問を受ける。 ③この単元の振り返りをする。

単元指導計画 中学校1年 Globe Trial 6

単元名 (時数)	「学校での生活や活動」(1時間)	
時期	3月	
単元の目標	【知技】 質問されたことを正しく理解することができる。(G) 【思判表】 目的地にたどり着くような指示をまとまりのある英語で伝えることができる。(L) 【学び】 アイコンタクト、適切な声の大きさや笑顔に意識しながら、相手の質問に答えようとする。(C)	
言語材料	新出表現・語彙例	
	既出表現・語彙例	

A : 面接員 (ALT) B : 生徒 (生徒) 【準備】なし

導入	A	Come here. Take a seat. Hello. How are you? I am ~. Give me your stamp card. (自己紹介を促す) Thank you. Now let's start the "English Trial". Are you ready?
	B	Yes (, I am). / OK. / Sure. など
	A	①英語で説明する場合 I am your English teacher from Australia. You are my student. We are talking about your school life. Are you ready? ②場面カードを渡す場合 OK. ○○-san. Please read the passage. (場面カードを渡す) This is our situation. OK? (分からないようであれば、Here is ~. You are ~.などと説明する (日本語も可))
	B	Yes (, I am). / OK. / Sure. など
	A	Let's begin.

英会話	A1	What subject do you like?
	B1	I like English. など
	A2	Excellent! Who teaches English (Who is your English teacher)?
	B2	Mr. Yamada teaches English. など
	A3	I understand. Next, please tell me your school lunch. Do you like school lunch?

B3①	Yes, I do.
B3②	No, I don' t.
A4	Oh, is curry and rice delicious?など
B4	Yes, it is. など

終了	A	OK. Thank you. (評価する) The English Trial of this satellite is over now. (よい所を一つコメントする) Thank you very much ○○san. Good bye.
	B	Good bye.など

単元指導計画 中学校 1 年 Globe Reading

単元名 (時数)	「日本の本を英語で読もう」(3時間)	
時期	3月	
単元の目標	【知技】 既習文法を使って長文を読み、内容を理解することができる。(C) 【思判表】 内容理解の質問に対して、英語で解答することができる。(C) 【学び】 世界に広まっている日本の文化を知ろうとする。(L)	
言語材料	新出表現・語彙例	過去形不規則変化 (lose, found, stood, blew) ,take off, out of, look back
	既出表現・語彙例	

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/C の内容)
1 既習文法を使って、内容を理解することができる。【知】 P.128,129	グループになり、担当分の本文を要約する。 その後、グループになり互いの情報をもとに本文の内容を理解する。
2 内容理解の質問に対して、英語で解答することができる。【思】	前時に行った内容理解を使い、質問に対して英語で答える。
3 世界に広まっている日本の文化を知ることができる。【学】	I C Tを活用して、日本の文化 (今回は文学に関わるもの) がどのように広まっているかを調べ、まとめる。